

編集 発行：社会福祉法人 啓明会 苓山寮・第二苓山寮  
〒863-0006 熊本県天草市本町下河内680  
TEL 0969-22-5339・0969-22-1766 FAX 0969-22-5090  
E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp・reizan2@muse.ocn.ne.jp  
社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>  
施設の旬の話題を「レイザンTOP.IX」にて更新中です。



新年を迎え皆さまのご健康とご多幸と心よりお祈り申し上げます  
本年も宜しくお願い致します

## 『備えあれば』

施設長 鮑田 一夫

新年明けましておめでとうございませう。しかし、通常のこの挨拶が憚られるような災害が元旦から起こり、多くの皆様がお亡くなりになったり避難を余儀なくされている状況に胸が痛みます。奪われてしまった日常を取り戻すにはもうしばらく時間がかかると思いますが、どうぞ気力を持ち続けて前に進んでいっていただきたいと思えます。微力ですが当施設からも障がい者支援のための協力依頼に職員一名を派遣する予定です。

施設では様々な災害に対して、いざそれが起こったときに迅速に対応できるように日頃から訓練を行い、また、事業継続計画（BCP）を作成しています。具体的には、毎月夕方職員が少なくなつた時間帯に火災避難訓練を実施しています。消防署の方によると、職員数が少ない時間帯での避難を計画している施設は多いが、実際にその時間帯に訓練を実施する施設は少ないということでした。また、年二回総合防災訓練として、避難、炊き出し、消火器使用、通報等の訓練を行っています。消火器訓練では利用者の方にも実際に

手に取って使っていたいただいています。さらに地震発生時の津波を想定した高台への避難訓練、不審者対応訓練等の不慮の事態を想定した訓練の他、新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス罹患者が発生したときの訓練も行っています。実際に新型コロナウイルス患者が出た時は、訓練がとても役立ちました。

しかし、実際に大きな災害が起こったときは訓練通りにはいかないだろうことは、容易に想像できます。その時その時で何を優先しなければならぬのか、短時間内に判断を迫られることもあるでしょう。二日に起きた羽田での衝突事故で旅客機の人命が全て救われたのは、客室乗務員のとつさの判断のお陰だったことにご存じの通りです。そういう状況で正しい判断を下すためには、日頃の訓練を自分事として受け止めて参加すること、また日常生活で起こる小さなトラブルに対して、常に自分だったらどう判断するか考える癖を付けることが大切だと思います。

災害は起こらないにこしたことはありませんが「備えあれば憂いなし」です。今年一年、利用者の皆さんが安心安全に暮らせるよう努めていかなければと、改めて思つた新年でした。

## サービスの現場より



### 『事務所より』

事務長 和田 茂樹

昨年より世間を騒がせ続けているニュースに、自動車メーカーのデータ改ざんによる生産停止や中古車販売会社の不正行為問題があります。企業のコンプライアンス（法令順守）違反が、消費者を始め関連企業への多額の損害賠償や、風評被害での非買等が大きな経営問題となっています。最近では、道徳や倫理に適っているか、社会的規範を逸脱していないか、社会貢献はしているか等の意味合いも強く含まれるようになってきています。

コンプライアンスが重要であることは周知されていますが、守られない理由の一つに、個々の考え方や感覚によって、多少ルールを守らなくともペナルティーが発生しない場合があり、例えば、五十キロ規制を運転する時、六十キロ位なら、六五キロ迄なら等、スピード違反でも一人ひとりの倫理観が違っているからだと言われています。法令順守規程では、体制や手順、確認事項や対応等が日常的に管理するようになっていきます。利用者、家族、地域住民、行政、職員家族等の皆様方からの信頼を一瞬で失ってしまうことがないよう、協同しルール厳守の意識が低調にならないよう改めて感じているところです。



### 『担当利用者さんへの 取り組み』

荅山寮支援員 池田 裕子

私が担当を受け持っているIさんは、女性利用者では最高齢で、今年で八九歳。来年には卒寿を迎えられます。そんなIさんですが、本当にすごい方なのです。なんとご自身の歯はすべて天然歯で二九本。虫歯一つもありません。また、現在施設内では歩行器を使用し、自由に移動が出来るのですが、なんと、突発的な事が起きるとそれを投げ捨て歩き出すほど足腰が丈夫です。趣味は編み物で、作品は男性利用者さんへプレゼントしたり、自室の飾りつけに使用したり、洗面台の掃除に使うたわし作りも係として取り組んでおられます。

よく二人で話をする中でいつも話題にできるのが、ご家族の事です。押入れの中のバッグにはいつでも帰省ができるよう、着替えがぎっしり詰まっており「これでよかろうか」と不安そうに見せて下さいます。「はい、それでばっちりですよ」と答えると、とても安心した満足そうな表情をうかべられます。家族思いで誰にでも分け隔てなく優しいIさんが、安心していつも笑顔で過ごせるよう、これからも毎日たくさんのお話をしていきたいと思っています。



### 『担当利用者さんへの 取り組み』

第二荅山寮支援員 若松 碧

私が担当しているSさんは、とても笑顔が素敵の方です。個別支援計画ではおしゃれを楽しむという事で、ファッションやスキンケアと一緒に若い女性らしくなって貰いたいと思っています。まずは洗顔が上手に出来る様にと練習しています。洗顔料を適量手に取り、泡の立て方を一緒に確認しながら、肌を傷つけない様にタオルで優しく丁寧に拭いて貰うというのを繰り返し練習しています。又、爪にマニキュアを塗ると「綺麗」と言っても喜んで貰えました。一度Sさんにもマニキュアを塗って貰うと最初は上手に塗れず、はみ出したりしていましたが塗り方をアドバイスするとすぐにマスターされ、綺麗に爪に塗り、はみ出す事がなく出来て私もとても嬉しかったです。日中活動では、すばる班として椎茸収穫作業や除草作業等にも積極的に参加され頑張っておられます。楽しみプランでもある「外出」の目標達成に向けて、スクワット三十回、踏み台昇降三十回を毎日行う他に「雑巾がけもしたい」とのご本人の要望もあり、活動に取り入れ、実施できたら押しているスタンプカードが溜まるのを楽しみにされています。今後も楽しく笑顔溢れる様に支援していきたいと思えます。

# 新春企画 (今年の抱負)

新しい年が始まりました。皆さんは、今年1年をどんな年にしたいと思っていますか。そこで今号では、新春企画として今年の干支である辰年生まれの**年男**・**年女**の皆さんに、新年の抱負を語っていただきました。

苓山寮副施設長 飽田 一喜

(昭和63年生まれ)

12歳の時も24歳の時も年を取れば成長するものだと思い込んでおりました。未だ池の鯉も同然ですが、副施設長として成長するため更に学び、動き、滝に挑み、年男として胸を張れる生き方ができればと思っています。

苓山寮支援課長補佐 井立 眞実

(昭和39年生まれ)

歳神様のご加護をよりよく受けられることから物事が成功しやすいそうです。私もやりたい事がたくさんありますが、まずは、平和を願い健康で充実した日々が送れたら幸せです。

苓山寮支援副主任 橋口 美雪

(昭和39年生まれ)

気が付いたらあっという間に還暦、本当にびっくりです。今年はコロナが5類に移行したので今まで行けなかった場所に旅行に行けたらいいな～とあれこれ計画しています。ブラウン管の中でしか見れなかった場所へGOです！

第二苓山寮支援主任 柴田 玉子

(昭和39年生まれ)

「1年の計は元旦にあり」といいますが、私の今年の目標は、食生活や体調管理に気を付け健康に過ごすことです。「健康は大いなる財産」と言われ、とても幸せな事です。食生活を少し見直し今年も元気に仕事ができる様、頑張りたいと思います。

苓山寮支援員 江崎 琢磨

(昭和51年生まれ)

家族が1年間健康に過ごせること。これが今年の抱負です。抱負というには些細な目標ではありますが、健康のありがたみを感じる事が多く、これほど重要な目標はないと思っています。健康で笑って過ごせる1年になりますように。

第二苓山寮支援員 鶴田 浩隆

(昭和63年生まれ)

無事に3回目の年男となる年を迎えることが出来ました。健康に1年間を過ごせる様、運動不足の解消に取り組みます。ジョギングや水泳などで体を動かし、今後も元気に働けるような体作りをする1年間にしたいと考えています。

苓山寮支援員 宮口 明美

(昭和63年生まれ)

初詣に行き、おみくじを引きました。「人に優しくなる為に自分がまず強くなるう」と書いてありました。無敵の強さを手に入れ優しくなれたかどうかは来年皆さまに判断して頂きたいと思っています。頑張ります。

第二苓山寮支援員 濱 美穂

(昭和63年生まれ)

昨年、健康診断で初めて胃透視検査を行いました。2次健診を受けることになりました。今まではあまり気にすることもなかった健康面に今年からは気を付けて仕事を頑張りたいと思います。

# クリスマス会

12月22日

今年も各施設での実施となりましたが、ご家族の方にもたくさんおいでいただき、楽しい会となりました。茶山寮では、利用者の方全員がサンタの衣装を着て参加されました。クリスマスの集いでは、大きな紙芝居を行い、キリストとマリア様が降臨して利用者の方々からは笑い声も聞かれました。第二茶山寮でも皆さんサンタの帽子をかぶり、カラオケ大会や1年間の思い出DVDを見て楽しめました。両施設とも最後にはサンタさんが来てくれ、1人1人プレゼントをもらいました。たくさんの笑顔と笑い声が響いたクリスマス会となりました。



# お餅つき

12月26日

今回は皆さんに楽しんで頂ける様「リトル餅つき」を考え実施しました。簡易的な物ではありましたが、「えい」「えい」と楽しそうに餅をつかれていたり「餅ついたよ」と嬉しそうに話をしてくださいました。

皆さんの笑顔を沢山見る事が出来て私自身嬉しくもあり幸せな気持ちにさせて頂きました。今後も行事を通して皆さんの笑顔を活力に変えて、日頃の支援にあたらせて頂きたいと思ます。



## グループホームより

グループホームから、苓山寮・第二苓山寮に勤務されている4名の方に今年の抱負を聞きました。



苓山寮用務員 坂中 裕紀  
(グループホームはばたき)

きちんと時間を守り、仕事を頑張ります。時間がある時は野菜を作っていますが新たな野菜作りに挑戦します。あと、タバコの本数を減らせるように頑張ります。



苓山寮調理員 濱 伸二  
(グループホームはばたき)

僕の仕事は食器を洗ったり、野菜の下処理をしたりと食堂の掃除をして頑張っています。今年も茶碗洗いと配膳、食堂の掃除を他の給食職員と一緒に頑張ります。



苓山寮用務員 吉村 裕貴  
(グループホームかなで)

新年の抱負は、小型船舶の免許を取る事と病気にも負けずに資格取得や仕事、父の仕事である漁業を覚えることです。また人の役に立てるように頑張ります。一人暮らしに向け小遣い帳をつけ、お金の管理を身につけます。



第二苓山寮調理員 迫口 弓美  
(グループホームカナン)

いつも心にある思いは、間違えないように一つ一つ気を付けながら配膳をする事です。頑張りたい事は、今までと変わらず良い緊張感を持って仕事をする事です。利用者様一人一人食事形態が違うのでしっかり確認し、皆様が笑顔で食べて頂ける様に頑張ります。

## 鬼火焚き

1月9日

時折聞こえてくる竹のはじける音に新年を感じながら無病息災・健康を祈り煙をかぶりました。午後からは正月

餅を焼き、今年もみんなが元気で過ごせるようにと願い美味しくいただきました！



【祝成人】



松山 司さん (苔山寮)



園田 健斗さん (苔山寮)



松下 里奈さん (グループホーム カナン)



井上 愛佳里さん (苔山寮支援員)



ご成人おめでとうございます。いよいよ大人の仲間入りですね。これからの活躍を心より祈念いたします。

【初詣】

元日、第二苔山寮では地元本町にある鈴木神社、十五社宮へ初詣に行ってきました。それぞれお参りをされた後、職員手作りのおみくじを引かれて楽しめました。おみくじを見せ合いながら「大吉だった、今年が良い年になるね」と笑顔で話されていました。



【お悔やみ】

江口 弘晃さん

苔山寮支援員として十年間勤められました。ご冥福をお祈りいたします。



日常生活の風景



金子 裕子さん

おしゃべりとカラオケが大好きな裕子さん。色々な事を知っておられ話題が尽きる事がありません。時にひょうきんな表情で笑わせて下さる等とても明るい方です。得意のカラオケでは「おもいで酒」が十八番で、感情を込めながら歌う姿は演歌歌手のようです。又、観察力も高く職員の変化にもすぐに気が付かれます。「髪切ったね」「洋服の新しくなったね」「可愛かよ」と誉め上手。お礼を伝えると「分かるよ」と満面の笑顔で頷かれます。これからも互いに笑い合いながら、楽しく過ごしていきたいと思えます。



坂口 保代さん

いつも笑顔で職員や利用者さんのお手伝いをして下さる優しい方で、歩行等日々の活動にも元気に参加されています。又、保代さんは手先が器用で編み物が大好きです。毎日時間があると編み棒を手にされ、楽しそうに取り組んでおられます。

現在、膝掛けとマフラーを制作中ですが色使いもきれいでとても上手に編まれています。作品はオーブンカフェ等で展示させて頂きますので皆さん是非ご覧になって下さい。

行事予定

一月

二三日 第六回管内研修

二月

二日 節分豆まき

十一日 建国記念日

十九日 チャレンジおゼロ

二二日 管内買物

二三日 天皇誕生日

二七日 亀川小学校駒打ち体験

三月

一日 ひな祭り交流会

十三日 事業計画会議

十八日 チャレンジおゼロ

二十日 春分の日

二六日 花見会

編集後記

皆さま、明けましておめでとうございます。

二〇二四年が幕を開けましたが、年頭より能登半島地震に航空機事故火災、北九州の火災と世の中は波乱の幕開けとなりました。苔山寮の方では発熱者多数からのコロナ対応と利用者の皆さんには制限のある正月となりました。二〇二四年は一体どうなるの・・・。

さて、暗くなるような悲しい話題ばかりですが、私はこう思います。と言うか、こう考えたいです。底辺からの出発、今後はきつと“右肩上がり”の一年となる。今年も皆様にとって良い一年となりますように。

